

富浦地区小中学校保護者対象のアンケート結果について

南房総市教育委員会

1. 富浦小中PTA役員によるアンケートを用いた意見集約

令和7年度に、学校再編に関してPTA役員による保護者アンケートが2回行われました。

- ①富浦中学校と富山中学校の2校の統合についての自由意見調査
- ②富浦中学校と富山中学校の2校の統合についての賛否を問うもの

②のアンケートにおいて1票でも多いほうを保護者の意見とし、学校再編検討委員会へ報告するというもの。

【結果：賛成91・反対109】

※回答数200（小中学校の家庭数は192のため回答の重複あり）

2. 自由意見調査について

富浦中学校と富山中学校の2校の統合について、賛成意見・反対意見に分けて記入を依頼したもの。

無記名アンケートであり、小中の別等、記載者の情報は無い。

【回答数72：賛成意見27・反対意見24・賛成反対両方記載21】

※明らかに重複していると判断できた回答を除く

3. 自由意見調査の回答内容（一部抜粋）

賛成意見の例

- 生徒数が増えることで子どもの成長に良い影響や効果があると考えられることや、行事や部活動の活発化について触れている意見が多い

「少人数より多人数の方が部活動が行いやすいし、人間力を育てるうえで大切。」

「環境変化を学校内で出来ることは児童にとっても良い。」

「多様な人間関係の形成、集団活動や行事の活発化。」

「子どもたちが他校の生徒と活動したり、関わったり、その流れで親同士の交流が出来る。コミュニケーションが足りていない。」

「集団生活を学び得られるものも多くなると思う。色々な価値観や考え方、遊びに触れる機会があるの

は良い。」

「地域を超えた交流が生まれ、新しい刺激や知識を得られる。」

「少子化になり教員のリスクなどを考えると統合は理想的なのかもしれない。」

反対意見の例 () は同様の意見の数を表しています。

A. 統合は賛成・否定していないものの、三芳地区との再編、あるいは更に広範囲での再編を望む意見 (11)

「生徒数の減少に統合という点には賛成。富山とは交通面で賛成とは言えない。三芳となら賛成。」

「統合を考えるなら三芳地区も交えて協議すべき。今後を見据え、市内全体での再編の機会を待つ方が良い。」

「三芳地区を含めて考えるべき。合併して間もなく三芳地区も合併の検討をする状況になる。」

「統合は考えなければならないと思うが、統合する場所によって賛成できない部分がある。最終的にはもっと広範囲で統合を考えた方が良い。」

B. 統合は賛成・否定していないものの、通学路への不安、市への不満があるもの (15)

「校舎の位置を先に提示して、遠くなる方には安全に通学できる体制を示して協議し、合意した方が保護者としては安心できる。」

「スクールバスの運休時、仕事があるため通学時間的に送っていくのが難しい。リモート授業は行わないとのことだが、後日でもいいので進めた分の授業内容を配る等対応して欲しい。」

「非常事態の場合の対応の明確化が必要と感じた。学童保育に関してももう少し幅広く対応できると良い。統合することにより柔軟にしていきたい。」

「子どもが少ない中、統合自体が反対ではない。富山だった場合の不安に対し、回答が変わらないことが問題。」

C. 富山地区への統合となった場合について、災害時・警報時の不安、通学距離の増加に対する不満、送迎の不便さから反対するもの (5)

「富山となった場合、通学距離の増加に伴う時間的ロスが発生。災害時の送迎が困難となる可能性が高まる。」

「送迎が不便になると思うので困る。急ぎの時や車を使える家族がいない場合もあるので不安が大きい。」

「悪天候時スクールバスが運行していなくても授業が行われる場合、送迎できない家庭は授業が受けら

れない。悪天候で保護者の迎えが困難な場合、学校は数日間の泊まりも想定して生徒を預かってくれるのか。」

D. 学校の位置に関すること、市への不満、その他理由から反対するもの（6）

「校舎の場所や、今後三芳地区との合併話が出た時の対応や利便性を決めてから賛否を取るべき。市役所本庁があり、人口増加の可能性のある富浦地区から学校をなくすのは市の価値を下げると思う。」

「説明会話を聞いている限り、富浦から富山へ通うよう説得させられている感じがした。配慮を伴う説明は無く、とてもじゃないが納得できる内容ではない。三芳も視野に入れた話し合いの必要性も感じた。とにかく保護者にも負担は大きく感じた。」

「富山学園は一貫教育を行っているが、富浦ではそれを考えることが出来ないのか。富浦の人口を増やせないのか。富浦から子どもの声が聞こえなくなるのではないのか。大雨・洪水などの警報が増えている中、子どもの教育も大事だが安全も大事であり、この問題を少しでも解決できる案が無ければ賛成できない。」

「保護者が意見を出しても反映されない。教育委員会が従来の決め方にこだわっているため、今後話し合いを進めても平行線のため意味がない。市が方針を変えれば賛成しても良いとは考える。」

「少ないながらの良さ、気持ちの繋がり、地域の繋がりを大切にしたい、子どもにも感じさせて大人になってほしいと願っている。少なくなる過程でどう活動していくかを考え、それぞれの学校へ通う人数を増加できる方法を考えた方が良いのでは。統合により良い影響となることも感じるが、様々な見通しが持てる状態から統合について検討しないと不安が大きくなり、統合を考えることが難しいと思う。」

E. 少人数の学校が良いと考える意見（2）

「少人数で学力向上に特化した中学校であって欲しい。」

「合併せずとも、小さな学校の良さがあるので小規模校であることを望む。」

F. その他（5）

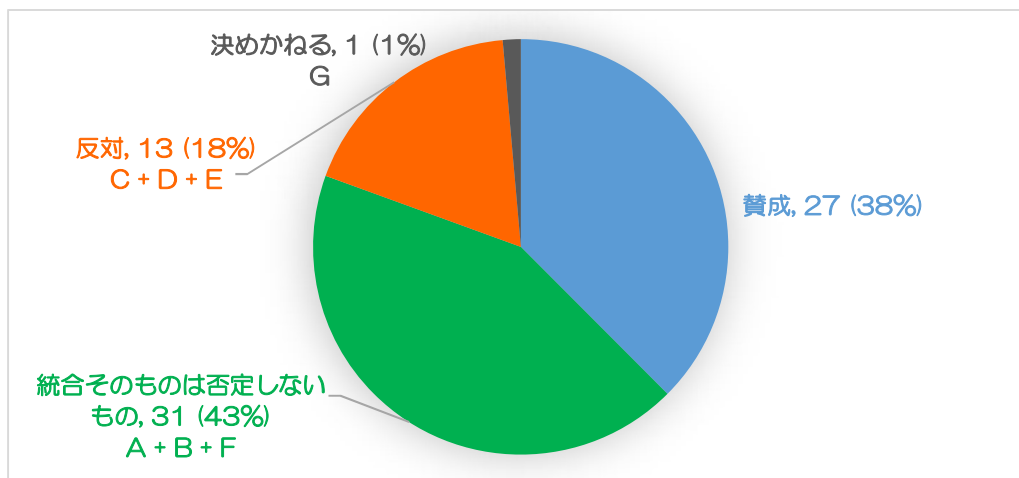
「どのような教育を行っていくのかが示され、そこに納得できれば、距離など関係なく賛成できるのではないか。」

「先生の目は、今の方が届くと思う。」

G. 決めかねる（1）

4. 自由意見調査結果からの見解

自由意見調査の内容から「統合の是非」について着目した場合



- 賛成 + 統合そのものは否定しないもの：58
- 反対：13
- 決めかねる：1

自由意見調査の回答内容について着目したい点

賛成意見：統合による人数増加が子どもの教育環境に良い影響を与えると考え意見が多い

反対意見：学校の位置・災害時の通学路・市への不満等、普段の教育環境に関するものではない部分の意見が多い

生徒数の増加によりもたらされる効果は、子ども達の成長に関わるものであり、これら統合によるメリットの部分について肯定的に捉えている保護者は多いことが伺えます。

反対意見には懸念点も多く寄せられていますが、のちの合同会議において協議し、課題解消に取り組む予定の内容も多く含まれています。仮に、合同会議においてそれらの懸念が解決できず合意に至らなければ、統合は難しいという結論となる場合もあります。

いずれの結果となっても、統合に関心を寄せる意見の多いアンケート結果を見ますと、学校再編に関する協議・検討を進めていく必要があると考えられます。教育委員会としては引き続き、一定の生徒数を確保できるよう学校統合をすることが望ましいと考え、学校再編についての検討をお願いしていく予定です。